

めだかの学校

代表者	馬屋原範聡（農学2年）
構成員	柳海里（工学4年）今井博章（理学4年）野原唯（人文4年） 上米良友紀（人文4年）藤野雄也（経済4年） 菊田賢太郎（医学4年）宋田夏美（人文4年） 桑野晃拓（農学4年）佐野誠（理学4年） 大澤清太郎（理学3年）山根好晃（理学3年） 高木茜（教育3年）岩武恵理子（人文3年） 江川由莉絵（人文3年）加藤菜実（医学3年） 久本綾子（教育3年）阿部弘佳（人文3年） 古瀬光章（理学3年）倉重直樹（経済2年） 久保田法彦（理学2年）前田亮治（工学2年） 本慶浩平（工学2年）縄田宏（工学2年） 大島あきこ（教育2年）宮木啓太（医学1年） 山根拓也（経済1年）矢野北斗（経済1年） 佐藤颯音（農学1年）高橋良嘉（農学1年）

4月1日から3月20日現在までの成果を、簡単ではありますが報告いたします。

1. プロジェクトの目的

地域の「子ども」「大人」「学生」の間で地域世代間交流を行うことで互いに学び合える活動を行います。これにより、大学と地域の架け橋になること目的としています。

- 大人→ 積極的に平川地域で行われるイベントに参加することで地域の方々と交流をする。
子ども→ 自分たちで平川小学校の学生を対象としたイベントを開き、地域と大学との架け橋になる。
また、地域の将来を担う子どもたちに地域のことを知ってもらえるような活動を行う。

2. プロジェクトの内容

○平川小の児童を対象にした催し物の企画・運営

- ・6月20日 ピクニック
- ・7月18日 野菜スタンプ
- ・12月19日 お菓子作り
- ・2月13日 キャンドル作り

○平川地区などの地域の活動や行事に関する活動

- ・4月24日 平川運動会

このイベントは、平川中学校のグラウンドで地域対抗の運動会がありました。

私たち大学生や留学生の方々も一つのチームとして参加し、地域の方々とムカデ競争や綱引きなどで交流を深めました。

- ・5月15日 平川クリーン作戦
- ・6月12日 チャレンジ教室（川釣り）

チャレンジ教室とは、平川地区主任児童委員さんが主催で行われているイベントです。

毎月第一土曜日に、公民館や九田の館などで行われます。子どもたちがさまざまな体験&チャレンジできる場所を提供する活動です。

- ・7月3日 チャレンジ教室（万華鏡作り）
- ・7月4日 アートふるリバーナイトの竹切り&加工
- ・7月18日 アートふる竹加工
- ・8月8日 平川地区盆踊り大会

これは8月8日に平川小学校で行われたイベントです。

参加者は地域内外から集まり、私たちは、留学生の方々と共に盆踊りを踊って交流を深めました。

- ・8月11日 工作作り（楽器作り）
- ・9月26日 地域イベント（古式脱穀体験）
- ・10月2,3日 アートふる山口

これは、一の坂川の赤れんが周辺で行われたイベントです。

このイベントには、毎年、参加しています。今回、私たちは、小学生を対象に地面にお絵かきや、石にお絵かき、しおり作りを行いました。しかし、天候に恵まれずに地面にお絵かきが途中で中止になってしまいました。その代わりに、そのほかの出し物には力を入れました。

- ・10月17日 チャレンジ教室（座禅、クイズラリー）
- ・11月6日 チャレンジ教室（芋掘り）
- ・11月21日 平川祭

平川中学校のグラウンドで行われたイベントです。

今回めだかの学校はシャボン玉とペーパークラフトを出し物として行いました。

参加してくれた子供たちは、各々どのようにしたらシャボン玉を上手く作れるかを試行錯誤しながら遊んでいました。

- ・12月5日 チャレンジ教室（ビーズ手芸）
- ・12月23日 しめ縄作り

地域の大人の方にしめ縄の作り方を教えていただきながら、地域の子供たちと一緒にしめ縄を作るイベントです。作業の中で、危険なところは学生が助けながら行いました。ここで作成したしめ縄はどんど焼きで利用して、その年の無病息災を祈ります。

- ・1月15日 どんど焼き

しめ縄やその年の書き初め等を燃やすほか、平川の子供会さん他各団体さんが協力しておしるこや豚汁を来てくださった地域の方々に振る舞うイベントです。

○その他

- ・10月17,18日 きらら物産・交流フェア2010

3. 今年度の反省

悪かった点は、昨年と同じく私たちが企画するイベントでは会議の段階で参加者が少なく、当日の参加者が子どもたちをどこまで手伝っていいか？や、何が必要か？などに多少ぬけがあった時がありました。そのため子供たちを戸惑わせたり、退屈させてしまったりした。そのため、昨年の対策に加えて早めに集合してその日の流れを事前に参加する大学生に説明をするなどのミーティングを行ったことで、解消できたと感じています。

今年の良かった点は、昨年あまり充実できなかった子供イベントの内容や大学側の参加者の問題を解決して、例年の年4回の子供イベントを行えたことです。これにより、子供たちを通じた地域への働きかけの度合いを回復できた点です。これからも、各担当がしっかりと連絡を取り、会議の日程を調整しながら最大限各種イベントの内容を充実させることで、地域内や地域と大学間のイベントに呼んでいただいたり、企画したりして、かけ橋として働きかけていきたいです。